



郡上の未来へつなぐ! まちづくりフェスティバル開催!!

昨年12月8日(土)、大和庁舎で「第4回郡上市まちづくりフェスティバル」を開催しました。当日は雪がこんこんと降る寒い日でしたが、総勢200名余の参加者がありました。

郡上市市民協働センターが主催者となって初めて開催した今回の「まちづくりフェスティバル」では、市民協働をテーマにした講演会のほか、市民協働による地域づくりを更に進めたいと「第1回まちづくりプロジェクトコンテスト」を実施。また、より多くの女性の参画を得る

ことを目指し、郡上市男女共同参画推進会議と共同で「輝く女性が語るまちづくり」と題した、市内在住の3人の女性によるトークセッションも行いました。

参加者からは「元気をもらった。自分も何かできるかもしれない。」という声や、市から花苗の提供を受け地域の花壇の管理をしている方からは、「市民協働」というと難しく思っていたが、自分がやっている花壇の手入れも「市民協働」だ。今後も活動がんばりたい。」という意見がありました。

講演会「市民協働が育む地域づくり」

講師に、高崎経済大学准教授・櫻井常矢氏をお招きして開催しました。ユーモアにあふれ、わかりやすかったと評判でした。講師からは、市民協働による地域づくりを進める上でのポイントとして

- ① 自分たちにできること
できないことを明確にすること
 - ② 横のつながりをつくること
 - ③ 話し合いの文化を根付かせること
- の3点が挙げられました。



第1回まちづくりプロジェクトコンテスト

地域課題を解決するためのアイデアを、市民のみなさまから提案いただくコンテストを開催。詳しくは次ページをご覧ください!



パネル展示コーナー

市内で活動する地域づくり団体やNPO法人の活動をパネルで展示しました。



第3回ともいきフェアイベント 輝く女性が語るまちづくり

郡上で活躍中の3人の女性が活動内容や夢を発表した後、3グループに分かれて会場のみなさんと意見交換しました。

● クラフト女子! 村瀬 英里子さん

子育てしやすいまちづくりと女性の自己実現を応援する市民活動団体「Chocotte(ちょこっと)」主宰。手作り雑貨の商品開発・販売や、子育て中の女性を対象とした教室を開催されています。

● 起業女子! 三浦 愛子さん

第1回ともいきフェア「女性の起業体験講座」をきっかけに菓子工房「文吉」を起業。日本古来の伝統食品やこだわりの香草に着目したお菓子を製造、販売されています。

● チャレンジ女子! 西脇洋恵さん

民宿「上出屋」の女将。明宝の民宿・旅館の女将会「ビスターリ・マーム」や「めいほう鶏ちゃん研究会」のメンバーとして活動するほか、公職も多数務められています。



耳寄り情報

郡上市男女共同参画推進会議では、2月に「第3回ともいきフェア」として「大女子会 in 郡上」を開催する予定です。性別・年齢に関係なくご参加いただけます。詳しくは広報「郡上」でお知らせします。

<問い合わせ>

郡上市男女共同参画推進会議
事務局 市役所 企画課
TEL67-1831
(平日 8:30~17:15)



中学生や高校生の提案に感嘆の声が続出!! 第1回 まちづくりプロジェクトコンテスト

まちづくりプロジェクトコンテストは、今回の目玉の企画で、地域課題を解決するためのアイデアを募集、内容を競ってもらうものです。今年初めて募集したところ、中学生の部では61件、一般・高校の部では48件の提案がありました。

当日は、中学生の部では、事前の書類審査を経て入賞した3組の生徒さんたちが発表しました。一般・高校の部では、事前の書類審査を通過した8組の方が会場で提案を発表、5名の審査員と来場者の投票により順位が決められました。

どの発表者も入念な準備をして当日にのぞまれたようで、現在の地域の課題と解決方法をとてもわかりやすく提案されました。

中でも、中学生や高校生のはつらつとした姿と、郡上への思いが、来場者の心に強く響いたようです。

詳しい結果は、次のとおりです。

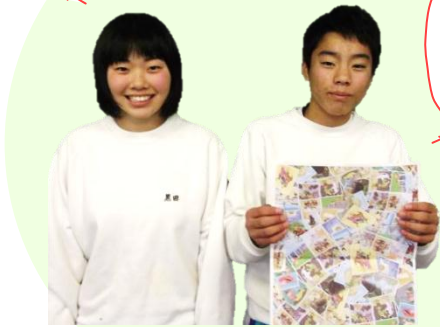


アイデアを発表している様子

中学生の部

郡上のよさを市民の皆さんや観光客に知ってもらいたい!

この包装紙で、郡上のよさをもっと知ってもらえたらうれしいです!



黒田一花さん 和田良太さん

提案名

郡上の魅力を伝える包装紙～郡上の歴史をもっと多くの人に知ってもらうために、地域の人に関わる包装紙をつくり、よさや魅力を広めるための企画を考えよう～

内容

郡上の魅力を住んでいる人や観光客にもっと知ってもらう。そのために小中学生から絵を募集し、包装紙に仕立て、市内の商店で使用してもらう。

方言の温かみが伝わってきて、郡上弁のすばらしさを知りました!

この企画で郡上の方言を伝えて、郡上を笑顔にしていきたい!



森 翔耶さん

宇佐見峻太さん

椎木満里乃さん

高原一誠さん

提案名

郡上弁
ショートストーリー

内容

郡上弁の良さを知ってもらい、広めるために、郡上弁を使ったショートストーリーを制作、動画で配信したりする。撮影は郡上の観光地で行い、郡上弁でしか表現できない言葉を中心に使う。

旭 由梨さん 高井華苗さん 和田めいりさん



服部真子さん

井上美咲さん

浴衣に合った小物を身につけて、郡上のおどりをオシャレに楽しもう!

GGCで、もっと郡上のおどりを楽しみましょう。女の子集まれー!!

提案名

浴衣に合う小物の製作
GGC (郡上ガールズコレクション) の開催

内容

もっと多くの地元の人や若者に郡上のおどりに参加してもらうため、浴衣に似合う小物を作ったり、ファッションショー・GGC (郡上ガールズコレクション) を開催する。浴衣や小物はその場で買えるようにする。

一般・高校の部

一般・高校の部のみ審査が行われ、最優秀賞1件、優秀賞2件、奨励賞5件が選ばれました。



櫻井氏による講評



表彰式



投票コーナー



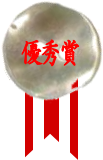
よいと思った提案に、来場者がひのきボールを1個ずつ投票。審査結果に反映されました。



団体名 和良おこし協議会

提案名 シェアしりゃーえーがー

内容 郡上に根付くシェアの心で、郡上を世界がうらやむ憧れの場所にする。



団体名 NPO 法人ななしんぼ

提案名 空き家を地域の資産に〜「空き家の管理人育成事業」

内容 増えつつある空き家を管理し景観づくり、防犯の促進を行う空き家の管理人育成事業

食産郡上をモットーに、レシピを市内の学生から募集して、活躍の場を増やしてもいいと思う！



田中さん 松山さん 渡邊さん 此島さん 丸山さん 尾藤さん

私達が提案した内容が現実になり、もっとたくさんの人に郡上の魅力が伝わったら嬉しいです。

団体名 岐阜県立郡上高等学校

此島華美さん
松山愛さん
渡邊紗彩さん
田中希実さん
尾藤江里子さん
丸山芽里さん



提案名 うまいもの町 食産郡上!!

内容 郡上にある多くの優良な食材を生かした新しい「食の名物」を開発し地域ブランドとして売り出す

「食産郡上」はわかりやすい良い言葉ですね！
いろいろな人と一緒にものごとを実現させるには、
わかりやすい名前をつけることも必要です。



櫻井氏

団体名 岐阜県立郡上高等学校 野田愛美梨さん

提案名 郡上文化の日

内容 郡上の文化や芸能を、後世や他地域に伝えることを目的に、郡上独自の文化の日を設けてイベントを行う



野田さん

郡上の文化は徹夜踊りだけじゃない。郡上の伝統文化をもっとメジャーにしたい。郡上市が今よりもっといい場所になって、皆さんにもっと愛して欲しいと思います。

郡上市が人間もペットも暮らしやすいまちになってほしい。

三輪さん



団体名 岐阜県立郡上北高等学校 三輪直輝さん

提案名 ペットを大切にするまちづくり

内容 ペットとの絆と愛情を深めるための里親機関の立ち上げや、公園でペットが遊べるスペースを作る



団体名 古川昭文さん

提案名 地域助け合い事業

団体名 Gujoinus (グジョイナス)

提案名 “国境を超えた郡上の魅力” 発見プロジェクト
～郡上市在住の外国人とともに

団体名 郡上市男女共同参画推進会議

提案名 大女子会 in 郡上の開催

まちづくりフェスティバルの成果を活かし市民協働をますます進めます！

今回の「まちづくりフェスティバル」の目玉として実施した「第1回まちづくりプロジェクトコンテスト」では、中学生の部3件、一般・高校の部8件の、合わせて11件の提案が入賞しました。実は、書類審査の段階でも、審査はとても難航しました。それは、どの提案も本当に素晴らしかったからです。

郡上市市民協働センターでは、入賞の有無に関わらず、これらの提案を全て「101プロジェクト」に位置づける計画です。「101プロジェクト」とは、101の事業を行うというのではなく、たくさんの市民協働の事業を行おうというプロジェクトです。一つずつ着実に、実現に向けて調整を行っていく予定です。

入賞しなかったけど**ぜひ実現したい方！**提案の実現に向けて**一緒に取り組みたい方！**私のちからを活かしてみたいという方！ぜひ市民協働センターまでご連絡ください。ともに動き出しましょう！

第1回まちづくりプロジェクトコンテストに応募されたすべての提案をホームページに掲載しています！ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.gujo-siminkyodo.org>



(センター運営委員・前田)



(センター運営委員・興藤)



(センター運営委員・水口)

「まちづくりプロジェクトコンテスト」も含めた、今回の「まちづくりフェスティバル」のDVDを作成しました。ご覧になりたい方は、郡上市図書館(しろとり・はちまん)でお借りになるか、郡上市市民協働センターまでご連絡ください。

編集後記

なぜ「協働」が必要なのか。平成21年に策定された市民協働指針では、「古くて新しい協働」と題して「協働」は、新しい言葉ですが、意味することは決して新しいものではありません。(中略)地域の課題に対する自治会の取り組みや、手間替え、結いなど、「協働」は日常の中で営々と培われてきたのです。」とあり、「市民は、行政こそ『公益』の担い手だと考え、陳情や要望を繰り返しサードピスの拡大を要求してきました。その結果、暮しの中の『みんなで取り組めばできること』は、どんどん小さくなっていきました。」と指摘されています。

更に市民協働指針では、これからのまちづくりのポイントは、「みんなで取り組めばできることの可能性を探ることにあります。」とも云っています。

昔に戻らなければとか、昔が良かったとか云うことではありません。市民一人ひとりが、それぞれの住んでいる地域において少しずつでも何ができるのかが問われています。

今回のまちづくりフェスティバルのプロジェクトコンテストにおいて、中学生の提案では「GGC(郡上ガールズコレクション)の開催」など多くを頂きました。高校生からは「うまいもの町 食産郡上!」、一般からは最優秀賞となった「シェアしりやーえーがー」という提案を頂きました。

市民の皆さんはそれぞれに郡上を何とかしたいと思っているのです。ただ、その提案をなかなか形にすることができないでいます。いまやらねばならないのは、

市民のアイデアを提案で終わらせないこと

でしょう。実現できる方法の検討、実現へ向けた行動計画の作成支援に向けて市民協働センターの仕事はたくさんあります。ガンバラねば……。

市民協働センター長 上村 英二



センターのしごと

センターにはたくさんの皆さんが訪れてくださいます。最近ではこんな相談を受けました。

- いまは任意の団体として活動しています。継続的な活動を目指すためNPO法人(特定非営利活動法人)にすることを考えていますが、その場合のメリット、デメリットは何でしょうか？
- 市内在住の外国人の方たちが、地域への貢献活動や、市民の方や他の外国人の方とのネットワークづくりの場を求めています。その活動をサポートする団体を設立したいのですが、どこへどのようにアプローチすればいいのでしょうか？



市民協働センターでは、「人のために役立ちたい」と思う人や団体が、**行動を起こしていくためのコーディネート**を行います。「こんなことを実現したいけど、**どうやったらいいんだろう**」というご相談から、「こういう公益性のある事業をしたいけど**資金**がなくて…」という相談まで、地域づくりに関わるご相談に幅広く応じます。**お気軽にご連絡ください!**

郡上市

市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1階
業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15 (土・日・祝祭日・12/29～1/3をのぞく)
※事前にご予約いただければ、平日は20:00まで、土・日曜日は10:00～17:00まで対応可能です。

